

令和7年度 香川県立文書館企画展示を開催します！

昭和 香川と地域の変貌

-高度経済成長から瀬戸大橋

昭和30年代・40年代の高度経済成長期から瀬戸大橋が開通する昭和期末までを主に取り上げます。令和7年は昭和100年の年にあたります。昭和の後半の時代は地域の風景が変わるような変貌の時代です。

この度の展示では、「昭和香川と地域の変貌-高度経済成長から瀬戸大橋」と題して丸亀市、坂出市、宇多津町の三地域を取り上げます。高度経済成長期には塩田が廃止され、臨海工業地帯へと地域は大きく変貌します。番の州の埋立ては塩田跡地ではないですが浅瀬が工業団地へと変貌します。塩田跡地で新都市開発事業が行われ、瀬戸大橋に直通の鉄道では宇多津駅が移転し新駅が造られます。県公文書や行政資料を中心に記録資料（アーカイブズ）を展示します。

また、県公文書や行政資料だけでなく、地域の資料も併せて展示します。県内各地域の写真や当時を物語る地図など、地域資料があつてこそ豊かなアーカイブズ群が形成されます。

- 1 開催期間：10月28日（火）～12月14日（日）
- 2 開館時間：午前9時～午後5時
- 3 休館日：毎週月曜日、祝日 11月4日（火）、11月25日（火）
12月2日（火）～12月7日（日）（資料整理期間のため休館）
- 4 会場：香川県立文書館1階展示室（高松市林町2217-19）
- 5 観覧料：無料
- 6 展示資料数：34件（おもな展示資料：裏面）
- 7 関連行事：アーカイブズウォーク「資料を手に坂出を歩こう」

坂出駅から坂出港を巡るコースです。

- ◆開催日時：11月16日（日） 午前9時30分～12時
- ◆集合場所：JR坂出駅（解散は鎌田共済会郷土博物館）
- ◆募集人数：20名程度（先着順）
- ◆申込方法：香川県電子申請・届出システムまたは電話・文書館閲覧室カウンター
- ◆参加費：無料

なお、参加申込みの受付は、10月20日（月）から開始します。

■お問い合わせ・申込先■

香川県立文書館

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/bunshokan/bunshokan/>

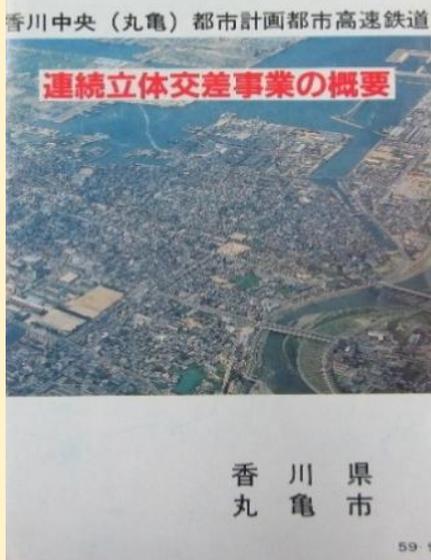
〒761-0301 高松市林町 2217-19

TEL (087) 868-7171

FAX (087) 868-7198

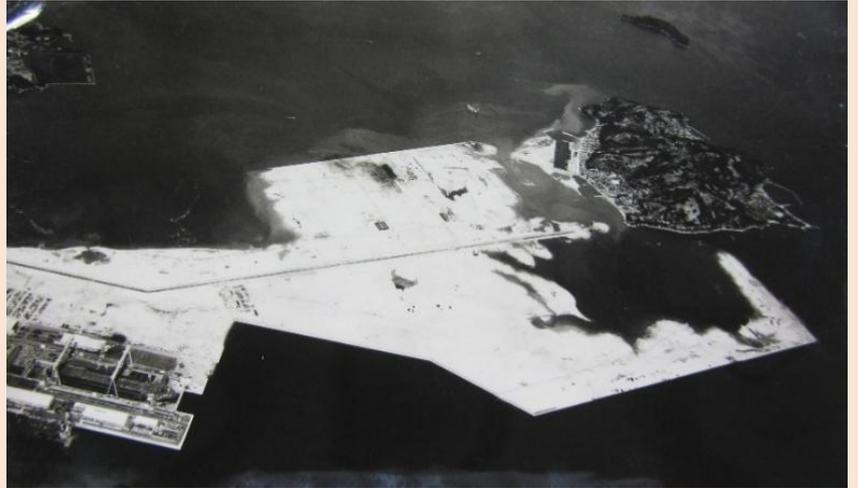


香川中央(丸亀)都市計画都市高速鉄道
連続立体交差事業概要 昭和 59 年(1984)



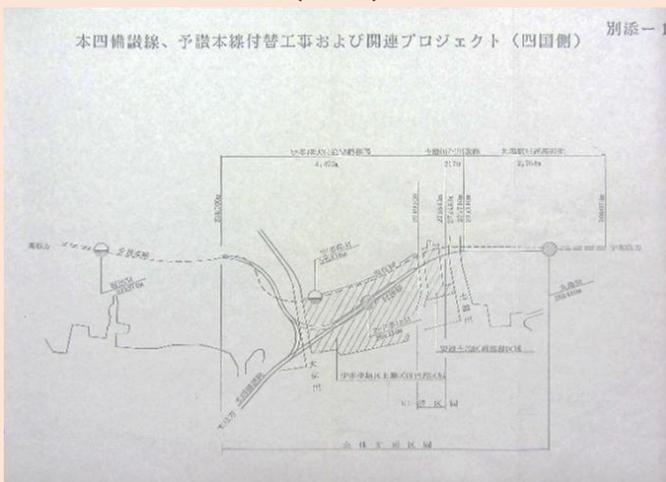
丸亀市発行のパンフレットに掲載された丸亀駅付近の連続立体交差事業概要図。事業区間は約 2760 ㍍で、高架の区間は約 2390 ㍍である。昭和 62 年(1987)10 月 2 日事業完了。線路が高架になり踏切が撤去されたことで、道路状況は改善。線路によって分断されていた南北の交通上の問題が解消し、車や人の流れがスムーズになった。

番ノ州地区臨海工業用土地造成事業(第1期工事) 状況写真
昭和 43 年(1968)



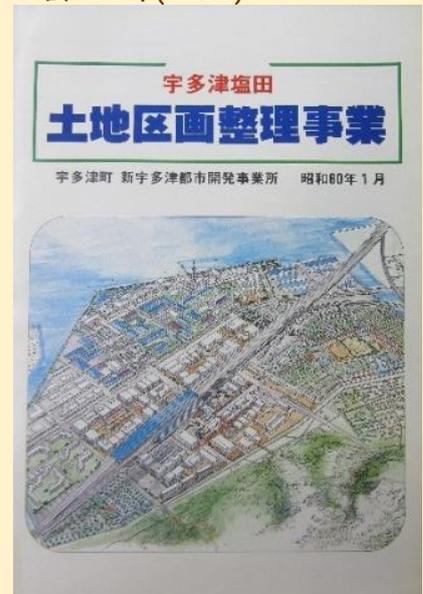
県が事業主体となり昭和 39 年(1964)4 月から昭和 51 年 3 月にかけて、番ノ州地区臨海工業用土地造成事業がなされた。国では水島航路・南北備讃瀬戸航路の浚渫工事を進めており、県ではその浚渫によって発生する土砂を利用して浅瀬の埋立てを行った。第一期工事と第二期工事のうち第一期工事の状況写真である。埋立てと道路建設と工場立地の 3 事業が並行して急ピッチで進められていることがわかる。

事業認定申請書 予算本線宇多津停車場・丸亀停車場間の一部
線路移設工事 昭和 61 年(1986)



予讃本線宇多津停車場・丸亀停車場間の一部線路移設工事 事業認定申請書は、本四備讃線、宇多津駅と丸亀駅間における線路移設工事の事業認定に関する県の公文書。移設前の線路は現在よりも南側の人家密集地を通過していた。人家を避け、塩田跡地を利用するルートが選定された。

宇多津塩田土地地区画整理事業
昭和 60 年(1985)



宇多津町と新宇多津都市開発事務所が作成したパンフレット。約 190 ㍍の広大な塩田は、昭和 46 年(1971)塩田での製塩廃止に伴い塩田跡地となった。塩田跡地は瀬戸大橋架橋に伴う鉄道ルートとして、新宇多津駅舎の設置・在来線の移設が決定し、香川中央都市計画事業宇多津塩田土地地区画整理事業が行われることとなった。